

平成20年（2008年）8月1日発行

昨年、本学園はめでたく創立100周年を迎え、さまざまな行事を盛大に執り行うことが出来た。これは、我々にとって大変嬉しく、素晴らしいことであり、本学園に關係する皆様のご支援・ご尽力の賜物である。厚く御礼申し上げる。創立100周年を新しい出発点として、次の世紀へ向かってスタートを切ったが、今ここに学園創立101周年の記念日を迎え、決意を新たに前進していきたい。

本学園においても建学の精神・理念を引き継ぎ、これを更に発展させていくということで、学科再編を進めている。

学園第二世紀、さらにキャンパスの エコ化を進めていきたい



理事長
大川 陽康

来年度には「環境」をキーワードに「ものづくり環境学科」、「生活環境デザイン学科」の2学科を新設、現在の「システム工学」を「創造システム工学」に名称変更する。次年度から学科も増え、大学の運営も更に多様な努力が必要であると思うが、全学園をあげて応援していきたい。

新学科設立を契機に、私は、このキャンパスに新しい息吹きをつくりたいと考えている。キャンパスは全体として考える必要があり、建物の建て替えも検討すべきであらう。

21世紀の環境をデザインする2学科新設

「ものづくり環境学科」「生活環境デザイン学科」 名称変更「創造システム工学」

本学は、以前から環境問題に積極的に取り組んできたが、来年度4月に「環境」に取り組む未来志向の2学科を新設する。合わせて、システム工学の名称を「創造システム工学」に名称変更することになった。ここでは新設2学科について、それぞれの取り組みを紹介する。

ものづくり環境学科



学生も参加するISO活動

我が国の経済は、工業製品や環境技術の輸出に大きく依存している。最近、原油・金属資源の高騰により、ものづくりは非常に厳しい状況に直面しているが、さらに2050年までにCO₂を50%削減することが世界の約束になった。このよう

な制約下で、ものづくりを行っていくには、製品のライフサイクルの根本的な見直しが必要となる。例えば、家電製品は廃棄時に、現在のようにリサイクル工場での解体・破砕処理されるのではなく、その製品を造った工場へ戻り、再使用可能な部品は新しい製品にもう一度組み込まれる。このような方式はインバースマニュファクチャリングと呼ばれる。21世紀に登場する未来工場

第一回 創立記念日学園協議会開催

本学園にとって101回目の創立記念日である6月29日、「第一回創立記念日学園協議会」が、学園の役員・大学・高校・中学・専門学校の教職員52名が出席して開催された。昨年の創立記念日は、学園創立100周年ということで、東京帝国ホテルを会場とし、盛大に記念式典・祝賀会を開催、1000名を超える来賓を迎えたが、学園第二世紀を

迎えた本年は、その第一回目として、学園の来し方を振り返り、現状、将来等について意見交換を行うものとして開催された。

当日は2部構成で、第一部では「学園協議会」として、大川陽康理事長から学園第二世紀を迎えるにあたっての挨拶があり、ついで柳澤章学長から「大学の運営と課題」と題し、「大学の建学の精神」「日本工業大学



調印する柳澤学長（前列左）

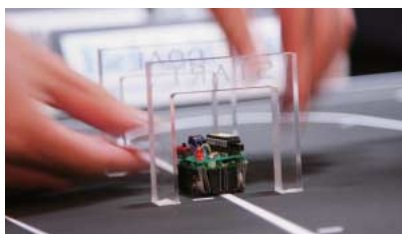
6月6日、柳澤章学長と建築学科・岩隈利輝准教授は中国山東省青島市の中国海洋大学を訪れ、「日本工業大学と中国海洋大学国際教育学院との学生交流に関する覚書」を締結した。本覚書は、昨秋、本学で取り交わされた「学術交流に向けた合意書」に基づくもの。同大学は80年前に開学、その後、山東大学から分離

国際交流

中国海洋大学と覚書締結

独立した中国の海洋研究の要である。現在、3力所のキャンパス面積合計2000haに、理学、工学、経済学、文学、医（薬）、管理、法学の19学部をもち、教職員数は1900人、大学院生3000名を含む学生数20000人の中国教育部直属の総合重点大学であり、あ

9/13(土) 第2回マイクロロボット開催 申込締切 8/22(金)



マイクロロボットをスタートさせる（昨年度大会風景）

来る9月13日(土)、本学で第2回マイクロロボットコンテスト高校生大会が開催される。1インチ角のロボットが所定のコースを自立的に走行し、時間を競うもので、わずか1インチ角のロボット内にCPUやバッテリーを搭載し、数10cmの大きなロボットに匹敵する機能を持つ様に設計要求される。その構成材料も実

生活環境デザイン学科

本学科には、住空間デザインコースと福祉空間デザインコースがあり、心地よい室内空間を創造するデザイナーと、高齢者に優しい住環境の専門家を育てる。

福祉空間デザインコースでは、安全で快適な住まいの設計や生活福祉の環境をトータルコーディネートできる人材の育成を目指す。



インテリアデザインラボ

建築に関する基礎知識を踏まえ、高齢化社会に対応した住環境や福祉施設を題材に設計製図に取り組みほか、介護体験や生活環境実験演習を通して人と空間の関わりを体験的に学習し、専門的な知識と技術を習得する。

6/7(土)

ミニオープンキャンパス開催(報告)

6月7日(土)、ミニオープンキャンパスが開催された。梅雨入り後に関わらず当日は天候に恵まれ、大勢の高校生や保護者の方が参加。午前・午後の2部構成で、参加者の希望にあわせて選べる分野体験や進路ガイダンスなどが好評だった。



受付では学生スタッフが迎えます

研究内容の紹介・展示

高校生のみなさんへ オープンキャンパスのお知らせ

オープンキャンパス

2008 9/6(土)・7(日) 11時より(昼食付き)

ミニオープンキャンパス

2008 10/4(土) 午前の部：10時より(昼食付き)
午後の部：14時より(ドリンク付き)

詳細は本学ホームページでご確認ください。参加申込みをされた方には、当日ステキなプレゼントをご用意しています！

お問い合わせ・お申込み先：日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
TEL. 0480-33-7676 ☎0120-250-267 FAX. 0480-33-7678
e-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL www.nit.ac.jp 携帯URL www.nit.ac.jp/k

大学機関別認証評価受審 自己点検・評価 報告書提出

本学は本年度大学機関別認証評価を受審するにあたり、平成20年6月末日、評価機関である(財)日本高等教育評価機構へ自己評価報告書を提出した。

認証評価は、平成16年4月1日からすべての大学、短期大学及び高等専門学校に義務付けられており、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況に関し、政令で定める7年以内(専門職大学院は5年以内)に一度、文部科学大臣が認証する評価機関の実施する評価を受審することになっている。

自己評価報告書は自己点検

め切りは8月22日金でウェブページからエントリー可。詳細はURLを参照のこと。http://se.nit.ac.jp/mr2.html 多数の参加を期待している。

今後、提出した自己評価報告書をもとに9月30日(火)から2日間、実地調査が行われ、平成21年3月に評価結果が確定する。

学園創立100周年
記念事業募金

寄 付 者 ご 芳 名

学園創立100周年記念事業の趣旨にご賛同賜り、関係各方面から心温まるご支援をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

お陰様で、様々な100周年事業・行事を無事、かつ盛大に執り行うことが出来ましたことをご報告申し上げます。

平成20年7月5日現在、本学園に対するご寄付として、八億六千万円余りの協賛をいただきました。

なお、大学関係としては、後援会より四億三千万円、工友会より一億円、宮代会より七百万円等、諸団体からのご寄付をいただきました。その他に法人として一九四件、個人として(匿名を含め)一八六九件のご寄付を頂戴しております。

ここにご寄付いただいた方のご芳名を掲載させていただきます、改めてご協力を賜りました方々のご芳志に対して厚く御礼を申し上げます。

掲載要項

- 一、ご芳名は、大学および専門学校にご寄付いただいた法人および個人の方のみを掲載し、高校・中学へご寄付された方のご芳名は掲載されていません。
- 二、平成十七年四月一日から平成二十年七月五日までにご寄付いただいた方を掲載しました。
- 三、掲載の順番は、区分ごとに五十音順とし、敬称は省略させていただきます。
- 四、区分ごとに整理して掲載しましたので、ご芳名が重複していることがあります。
- 五、法人および個人のご芳名は、ご寄付いただいた時点の名称で掲載してあります。

学園創立百周年記念募金要領

■募金の主旨

本学100周年記念事業として建設致しました「百年記念館」(図書館・情報複合施設)の建設費として、ご寄付をお願い致しました。

■募金の期間

平成十七年四月一日から平成二十年三月三十一日まで

■募金の種類

- I 個人 (在校生父母、卒業生、一般篤志家、教職員等)
 - 一口 一万円 (できれば二口以上)
- II 法人 (取引先企業、卒業生・在校生父母の自営企業、その他の企業等)
 - 一口 十万円

100周年記念事業・行事のご報告

日本工業大学は、学園創立100周年を記念し、次の事業・行事を行いました。

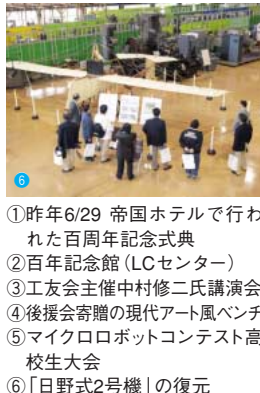
■記念事業

- 1.平成17年4月 神田神保町に社会人を対象とした1年制の専門職大学院を開設 (平日夜間、土曜日終日開講)
- 2.宮代キャンパスに「百年記念館」を建設 (平成19年9月竣工)。建設費は主要設備を含め、約27億円
- 3.歴史編・未来編からなる百年史を発行
- 4.明治43年に本学園の母体・東京工科大学で組み立てられ、日本初飛行に挑戦した「日野式2号機」の復元

■記念行事

- 1.学園創立百周年記念式典および祝賀会開催 (帝国ホテル 6月29日)
- 2.工友会主催・中村修二氏講演会 (6月30日)
- 3.第1回日本工業大学マイクロロボットコンテスト高校生大会 (学友会館 9月1日)
- 4.百年記念館オープン記念公演 (百年記念館「LCセンター」 10月13日)
- 5.学生が参加する論文・シンボルマークコンテスト
- 6.ビジネスプランコンテスト (在学生対象)
- 7.本学卒業現職教員の集い (東京ガーデンパレス 12月1日)
- 8.その他、学生・教職員や地元の方々の参加を得た文化行事等、多くの記念行事を行いました。

学校法人 日本工業大学創立百周年記念式典



①昨年6/29 帝国ホテルで行われた百周年記念式典
②百年記念館(LCセンター)
③工友会主催中村修二氏講演会
④後援会寄贈の現代アート風ベンチ
⑤マイクロロボットコンテスト高校生大会
⑥「日野式2号機」の復元

取引先・就職先・他

(有)アートビジネス社	技研精機(株)	セントラル警備保障(株)
(有)I・A企画	北野精機(株)	(株)総合エンジニアリング
(株)愛植物設計事務所	(株)キャステック	(株)ソフトウエア・ディ
アイメックス(株)	(株)共立機械製作所	そはら 京屋
(株)アイランド	(株)協和建築積算事務所	(株)ソフトウエア・ディ
朝日印刷(株)	(株)グリーンゲート	ベロブメント
旭精工(株)	(有)クロサワカメラ	(株)損害保険ジャパン
(有)阿部測量設計事務所	経営・金融研究所	第一緑興(株)
アポロオフィスシステム(株)	京浜精密工業(株)	(株)タイカワシマ
(株)アマタ	ケイホーキ(株)	(株)大学通信
アンデス電気(株)	(有)建友石井建具店	大成通調(株)
アンドールシステムサ	光機熱工業(株)	大成建設(株)
ポート(株)	(株)廣洋	(有)大勇建築工業
(株)イースタン	(株)広洋社	太陽電業(株)
伊草建設(株)	(株)晃和設備	大和証券(株)銀座支店
池上金型工業(株)	国際ソフトウェア(株)	(株)高島デリバリー
(株)池下設計	(株)小島鉄工所	高山商事(株)
池田常栄税理士事務所	国光施設工業(株)	TACO(株)
市沢文房具店	(株)コンピュタシステム研究所	多田建設(株)
(有)イネット	埼玉県電事工業組合	夢科情報(株)
(株)茨城富士	斎藤工業(株)	田辺工業(株)
(株)ウエルディングアロ	佐々木モールド研究所	(株)田井井製作所
イズ・ジャパン	佐竹化学機械工業(株)	中央印刷(株)
内山電機工業(株)	(株)サン・アド	(株)ツールテクノ
ウム・ヴェルト(株)	(株)サンウェル	(株)アサインネットワーク
(株)ウルノ埼玉支店	三英建設(株)	(株)東京日立
(株)エス・イー・アドバ	(株)三英社製作所	東京プロカラー
ンス	三英電業(株)	東京冷機工業(株)
(株)エス・イー・シー・	(株)サンエツ	(株)東庄建商
ハイテック	(株)山水広告社	東和工業(株)
NSKマシナリー(株)	(株)サン精密化工研究所	(株)常盤軒
(株)エプセル	(有)ジェイ・フラン	トヨクニ電線(株)
(有)エフマテック	JFEメカニカル(株)	NITEC埼玉産学交
(株)オーエムシーパブリ	自動車部品工業(株)	流会
ックス	(株)篠塚製作所	(株)中澤精密
(有)オオセキ印刷	シャープ(株)	中村建設(株)
大塚消火器(株)	(株)住機	(株)中村工業所
(株)オーテック	昭栄建設(株)	(株)七星科学研究所
大貴産業(株)	白岡冶金(株)	(株)ナミキ
大森機械工業(株)	(株)シンクルライフ予約	(株)ニチボウ
(株)小田急百貨店	センター	日興コーティアル証券(株)
オリエンタル技研工業(株)	新生テクノス(株)	(株)ニッコークリエート
(株)学生支援会	新日本監査法人	日進工具(株)
(株)カシジ	鈴木青果	日成工事(株)
(株)カナザワ	スポーツ施設(株)	(株)日東電機製作所
(株)カネコ	(株)住田光学ガラス	(株)日本工業大学サービ
上板塑桂(株)	(株)スルガコーポレーシ	スセンター書籍部
川口土木建築工業(株)	ョン	日本テクノウェイブ(株)
(株)関東電気保安協会		(株)日本ドリコム

渡辺 勝美 渡井 英夫 我妻 法行 蒼月 芳紀 吉本 憲弘 吉橋 慶一 吉野 高吉 吉野 公一 吉野 功 吉永 宗久 吉田 裕二 吉田 忠雄 吉田 修二 横田 清隆 湯井 久生 山本 忠則 山中 將利 山田 與志三 山田 慎一 山田 国雄 山下 松男 山下 孝夫 山口 幸助 柳原 隆政 柳原 重徳 矢嶋 智実 矢澤 啓司 八木 賢一 八木 淳 森本 孝明 森 慎平 百瀬 智 本橋 正喜 本橋 伸也 本野 翔一郎 望月 淳 持田 良文 村山 敦史 村松 敏多 村野 廣昭 村上 義弘 村上 康裕 村上 徹 武藤 慎吾 宮本 裕行 宮本 宣仁 宮部 嘉紀 宮下 正美 宮下 拓郎 宮下 重康 宮澤 秀幸 三宅 泰雄 南谷 健 皆川 達也

専門職大学院同窓会

渡辺	渡辺	渡邊
春英	治雄	信幸

渡邊 雄太
渡邊 正道

その他団体

林一雄

天満宮崇敬会
日本工業大学天満宮崇敬会

佐々木 哲夫
神馬 敬

三英電業株式會社	飯島 訓政	飯島 由之	石井 幸雄	石川 真也	小野田 公知	菊地 健一	木村 隆幸	近藤 映生
鈴木 昭	竹内 淳彦	竹中 規雄	当舍 勝次	土肥原 和夫	長田 重慶	中村 公司	野中 政尚	長谷川 雅康

齊藤 弘和	鈴木 昭幸	鈴木 文克	鈴木 敬久	高梨 友三	高橋 光明	田辺 達也	丹治 政明	西片 雅則	根倉 利彦	林 一男	布施 正美
林 亮	藤田 勲	北後 寿	本莊 昭三	松本 正勝	森口 秀子	守友 貞雄	安田 之彦	山野 健一	湯川 元久	渡辺 寛	日本工業大学サービス

増田 健一
水野谷 忠司
山岸 勇樹
湯川 善夫
渡辺 一二
工業技術博物館後援会
日本薬大学 工業技術博物館後援会

荒木 義夫
池田 義雄
小笠原 朋憲
小倉 偉利
小嶋 隆善
小原 信治

役職員（旧役職員を含む）

法人役員・日本工大教職員
法人事務局・専門学校教職員

青木	青柳	秋山	秋山
収	稔	庄平	正夫

浅野	穴井	安部	荒井
ミエ子	正洋	晨	清美

新井 淳子
新井 信男
荒木 義夫
有賀 幸則
飯倉 道雄
飯島 貴子
飯塚 完司
五十嵐 寧
池田 義雄
石井 隆弘
石井 治実
石川 孝
石河 昌代
石川 豊
石崎 克也
石崎 敬三
石田 高名
石田 武志
石田 実
石田 之則
石塚 トシ江
磯雄二
磯野 春雄
市川 泰弘
市川 益偉
市橋 重勝
伊藤 サチ
伊藤 庸一
伊藤 謙太郎
井上 スヨ子
井上 征治郎
伊原 征治郎
今井 清美
入 征子
入山 明美
岩井 静子
岩隈 利輝
上野 貴博
内田 盛也
内田 陽子
内山 脩
梅崎 栄作
浦 清美
浦野 茂夫
漆原 富士夫
江藤 香
衛藤 和文
江原 里織
江原 慎一
海老原 亀久寿
遠藤 節子
遠藤 竹美
遠藤 とみえ
及川 佳子
大川 陽康

大川	大木	大木	大木	大久保	大越	太田	大塚	大西	大貫	大場	近江	大村	大森	大森	大森	小笠原	岡田	岡本	小川	小川	小川	小川	沖田	奥田	小倉	小卒	小高	小田中	小原	折原	梶田	鹿嶋	片山	勝間田	加藤	加藤	加藤	加藤	加藤	金嶽	兼子	兼子	金行	樺澤	釜田	加村	川井	川島	川添	川副	川村	川村	川村	神林	木崎
淑子	知紀	幹雄	吉甫	恵	紀代美	智	竹郎	毅	マサ	廣子	正幸	幸男	和夫	純子	信明	朋憲	徳江	美雪	修	次郎	万希子	次朗	眞	勝	真一郎	寿夫	敏男	重信	由美子	恒代	泰好	茂友	仁	恒光	重雄	孝男	直	実	早苗	正生	美智子	壮二	康夫	博美	隆志	睦子	信也	恒次郎	富男	真司	清志	靖	康夫		

岸敬二
北久保茂
城戸卓男
木下孝二
木村寛治
木村秀子
木村雅則
京野晴郎
清島達郎
日下部恵美子
日下部岱
倉島清隆
倉持千代子
栗本収
黒澤明
黒田矢須子
黒津高行
桑原忠
桑原文夫
源田郁絵
呉志良
小泉昇三
古閑伸裕
後藤一
小西法行
小早川隆夫
小林和子
小林久美子
小林勉
小林哲二
駒橋仁美
小森修子
齊藤望
佐伯正盛
五月女浩樹
酒井茂紀
酒井誠
酒井康夫
坂本康治
坂本光男
櫻井朝雄
佐々木哲夫
佐々木文子
貞包利文
佐竹松子
佐藤勝行
佐藤茂夫
佐藤杉弥
佐藤建夫
塩入修
芝田稔
渋谷龍美
清水博幸
正道寺勉

城山 正則
白石 一郎
白石 弘美
神 雅彦
神馬 敬
神力 正宣
菅沢 一之
菅原 和土
菅原 有香子
杉田 政男
杉村 京子
杉本 安次郎
杉本 賢広
助川 由美子
鈴木 昭
鈴木 一良
鈴木 清
鈴木 功作
鈴木 正二
鈴木 史朗
鈴木 節雄
鈴木 正
鈴木 務
鈴木 敏正
鈴木 友子
鈴木 宏典
鈴木 学
鈴木 康之
鈴木 良裕
須山 智恵子
清野 紀子
関 勲
関口 武久
関根 政徳
高木 茂男
高瀬 浩史
高田 昭二
高橋 明遠
高橋 けん一
高橋 恒
高橋 多紀子
高橋 富美子
高橋 雅充
田川 鋭治
瀧ヶ崎 隆司
田口 省三
田口 幸恵
武井 孝
竹内 淳彦
竹内 貞雄
武田 光史
太刀川 洗吉
田中 隆治
田中 実

田中	田邊	谷沢	谷本	谷本	田部井	玉木	田村	田村	田村	丹澤	丹治	塚林	辻村	土野	土屋	恒吉	寺内	寺尾	寺島	寺島	當山	徳川	飛田	富岡	富田	長坂	中里	中島	中島	中島	長田	中原	永堀	仲摩	中道	中村	中村	中村	中村	中山	奈良	成田	新妻	二階堂	西田	西村	西山	丹羽	貫井	野口	野口	野口	野口	谷澤
佳子	潤	茂	善彦	直	英世	保	悦之	喜久枝	仁	祥晃	明	功	泰寛	一清	秀雄	典子	史子	裕	喜美子	幸雄	孝義	喜壽	しをり	登志子	和江	保美	裕一	克典	美代子	良洋	重慶	竹男	和江	文雄	一郎	恵子	俊一郎	まきみ	洋一	尚恵	慶子	健一	弘	鐵夫	和江	誠介	光昭	次郎	光男	憲治	卓也	裕之		

野中 政尚	野本 衣余里	白田 順子	長谷川 嗣彦	長谷川 洸	長谷川 裕子	長谷部 伊津子	畑 弘恭	波多野 純	初見 範子	花木 規恵	早川 ゆかり	林 祐司	原 利次	原 渡	原口 純	原田 昭	原田 敬司	原田 隆	原田 達哉	張替 勇	伴 雅人	樋口 昌春	平賀 義彦	平柳 恵作	廣澤 史彦	廣瀬 治男	廣瀬 由紀子	深田 孝	福澤 浩	福田 成二	藤崎 典子	藤崎 雅彦	藤島 みどり	藤田 勲	藤田 誠一	藤田 則夫	藤田 蓉子	藤野 充平	伏見 恒夫	船越 昭紀	船橋 昭一	古沢 謙次	古澤 雅仁	北後 寿	星野 坦之	堀田 勝喜	堀内 優子	堀口 光敏	本間 喜久雄	増田 松雄	増本 憲泰	マダブ N マンダール	町田 輝史
-------	--------	-------	--------	-------	--------	---------	------	-------	-------	-------	--------	------	------	-----	------	------	-------	------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	------	------	-------	-------	-------	--------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------------	-------

町田 廣安
松井 正長
松井 立夫
松倉 宏一
松田 郁夫
松野 建一
松本 勇一郎
松本 義男
丸山 達男
水沼 守
南山 芳文
宮國 勉
三宅 正二郎
宮坂 修吉
宮崎 好恵
宮沢 肇
宮本 智子
宮本 春江
三好 和壽
椋田 實
村川 正夫
村口 昌之
村田 泰彦
森 真作
森 正美
森田 登
守友 貞雄
森宮 脩
森山 幹郎
柳下 崇
八木田 浩史
矢島 幸雄
泰野 愈士
柳澤 章
柳澤 孝至
谷原 光男
矢部 正行
山岡 斉
山岸 嵩
山口 重光
山口 義昭
山下 一夫
山田 隆司
山田 利一
山地 秀美
山中 將利
湯浅 隆子
湯川 元久
横尾 肇
横谷 真一郎
吉岡 亨
吉川 悦子
吉川 寿子
吉澤 信幸

吉田 清
吉田 忠雄
吉田 伸枝
吉田 有美
吉見 健二
米田 桂三
劉 ウェン
脇本 隆之
和田 敏一
渡辺 顯
渡邊 歩
渡辺 いち
渡辺 勝彦

**本学入学者を対象
新奨学**

6月26日に「日本工業大学奨学振興基金規程」が制定され、入学者を対象とした新奨学金制度が誕生した。

同規程は、本学を退職する教員からの寄付金を、退職教員の所属

体操部、東日本

6月22日に防衛大学で開催された「第41回・東日本理工学系大身体操競技選手権大会」で本身体操競技部が、団体、個人共に6連覇を果たした。

団体は、2位(防衛大)以下を大きく引き離しての優勝。個人では、本学システム工学科3年生・津田涼太君が優勝、電気電子工学科が優待。

百周年記録写

昨年は、学園創立100周年として多くの事業・行事が行われたが、先人の残した記録がいかに貴重であるかを実感した。先人に感謝し、次へ続く人達のために、これらを「写真集」として記録に止めたいという大川陽康

体操部、東日本理工系大学体操競技大会で

団体・個人共に6連覇

6月26日に「日本工業大学奨学振興基金規程」が制定され、入学者を対象とした新奨学金制度が誕生した。

同規程は、本学を退職する教員からの寄付金を、退職教員の所属する学科へ入学する優秀な新入生を対象とした奨学金として給付することを定めたもの。

その第一号として、本年3月末に定年退職した電気電子工学科・石田之則教授から寄贈

された4百万円の寄付金を、同学科へ入学する学生への奨学金として活用する。

原則として学生一人当たり年額20万円を給付し、これを授業料に充当する。適用は、平成21年度からで、給付期間は1年である。

その他個人

渡部 力三
高修 幸一

渡邊 渡邊 渡邊
康夫 正道 寛

大矢 暁	福田 晃一
荻島 弘子	藤森 幹仁
後藤 勇（日進工具(株) 社長）	松沢 伸行
田辺 芳一（ポテン(株) 社長）	宮永 敬輔

百周年記録写真集発行

6月22日に防衛大学
で開催された「第41
回・東日本理工系大学
体操競技選手権大会」
で本学体操競技部が、
団体、個人共に6連覇
を果たした。

団体は、2位（防衛
大）以下を大きく引き
離した優勝。個人で
は、本学システム工学
科3年生・津田涼太君
が優勝、電気電子工学



優勝杯、表彰状を手にする体操部員

00周年として多くの
 事業・行事が行われた
 理事長の発意により、
 「日本工業大学創立1
 00周年記念事業・行

が、先人の残した記録がいかにか貴重であるかを実感した。先人に感謝し、次へ続く人達の

『百周年の記録』が発行された。

年録
百周年の記録
百周年の記録
百周年の記録



「百周年の記録」表紙

2008NEW環境展に出展



本学出展ブースの様子

学は2002年から7年連続の出展である。

本学からは機械工学科小倉研究室の「超低燃費カムレスエンジンの開発」、情報工学科片山研究室の「エコミュージアムライブラリ」の2テーマが出展された。

小倉研究室からの出展は次の3つのキーワードの超低燃費エンジンで2007年度日本機械学会に於いて研究発表したものだ。①運転状況に応じてバルブタイミングを自在に制御可能な世界初の新電磁駆動バルブを搭載 ②高熱効率（低燃費）の圧縮比10、膨張比20のミラーサイクルを実現 ③技術レベルの高い早閉じミラーサイクルを実現

また、片山研究室からの

緑のカーテン設置



日々成長する緑のカーテン

幅約23メートルに植えつけられた。

「緑のカーテン」は夏の強い日差しを和らげ、蒸散効果により涼風が得られ、クーラーなしでも部屋の温度を下げられる「自然のカーテン」との触れ込みで、市民活動を中心に広がりつつある。もともとは戸建住宅など小規模なものが中心であったが、プラントナーに灌水装置を組み込み、通気を確保しながら水位を一定に保つ工夫を加えることで、高さ20メートル程度まで伸ばすことが可能となることから、東京では百を超える小学校で採用されている。本学では灌水装置の水源として中水を用いており、さらに環境に配慮したものとなっている。西面は植物の成長には不利な条件ではあるが、7月末の段階で部分的には9メートル以上に成長し、キュウリ、ゴーヤはすでに何本かが収穫されている。成長の晩にはキャンパスで展開されているエコミュージアムの一つとしても活用が予定されている。

学生自治会主催の 主な学生行事	
7月5日、学生自治会が主催するボーリング大会が開催された。当日は、18時30分からピックボウル杉戸で34レーンをすべて貸し切られて行われた。大会は、1チーム4名で構成され各自2ゲーム行う。成績上位者ならびにチームには、主催者である中央執行委員会清水裕章委員長から豪華賞品が授与された。	日から31日の2日間、日工大夏祭りが行われた。昨年まで体育館前を主会場として行われていたが、今年は本館と旧図書館の間に移した。櫓の前では盆踊りや浴衣コンテストなど様々な企画が行われた。そして、夏祭りの最後を飾るのは、打上げ花火。100発の花火が夏の夜空を彩った。
春学期試験最終日7月30	から9月20日まで約2ヶ月間

の夏季休業となる。その間には、夏合宿を行うクラブ団体も多い。運動部と文系クラブをそれぞれ取りまとめている体育会と文化団体連合会では、1年生を対象に普段のクラブ活動では体験できない他のクラブとの交流を図るためフレッシュマンキャンプを計画。体育会は8月3日から5日まで、文化団体連合会は9月3日から5日までどちらも下田寮で行われる。

第40回若杉祭は、11月1日から3日までの3日間行われる。今回のテーマは「華舞喜々華の四重奏」に決定した。華舞喜は、かぶきと読む。このテーマ華舞喜には、来場した方々が思わず舞い踊ってしまいそうなほど、楽しい若杉祭になるようにという願いが込められている。そして、華の四重奏には、大学祭実行委員会が40周年という節目の年を迎え、これからも華やかな大学祭を作ってきたいという気持ちを表している。みなさんも、ぜひ参加してもらいたい。

社会人、特に中堅・中小企業に勤務している幹部や幹部候補生あるいは技術開発リーダー等を主対象とする本専門職大学院では、1年間の集中的・効率的な勉強により技術経営修士（専門職）の学位を取得できるように、春夏秋冬4学期制となっている。

7月中旬で春学期の講義は終わり、補講および試験も下旬に終了したが、第4期生には休む間も殆ど無く8月1日には9月末までの夏学期が始まった。国内のほぼすべての大学院では約2ヶ月間の夏季休暇に入っている時期であるが、多くの企業が休みとなる旧盆時期の約10日間を除いて開講される。しかも、平日夜は2コマ、土曜日は3コマの集中講義であるため、春学期の週1コマずつに比べて格段に進む速度が早い。

平均年齢約40歳の第4期生全員が、夏の暑さにも講義のスピードにも負けず、勤務を続けるとともに授業に休まず出席し、自己のレベルアップにつながる実践的知識を修得できるよう期待している。



院生の年齢、経歴、業種・職種等が多種多様で、同期生間の交流がそのまま世代間交流や異業種・異職種交流になること、教員やOBとの交流もかなり盛んなこと



4期生や教員も参加した同窓会総会後の懇親会


 4期生や教員も参加した同窓会総会後の懇親会
 同窓会総会が開催されて、新役員と同窓会ウエブページの開設等を含む新たな活動方針が決まり、夕刻には4期生や教員も交えた懇親会がキャンパスの近くで開かれた(写真)。
 また、来る8月9日(土)夕刻には4期生主催の納涼懇親会も計画されているので、修了生達が講義と同様に実務に役立っていることと異口同音に
 いう交流を深める場として大いに活用してもらいたいと思う。

本年度のオープンキャンパスは、別掲のように、11月8日、1月17日、2月14日の3回開催される予定で

ある。3 回行われる入試の 2、3 週間前のいずれも土曜日の開催である。当日は本大学院の概要と特徴、カリキュラムや履修方法等の説明に続き、4 期生までのデータ紹介、修了生による特定課題研究（修士論文に代わるもの）の発表、専任教授による模擬授業、修了生と在学生による「学習と実務への活用」に関するディスカッション、キャンパスツアー（施設見学）等が計画されており、参加者の質問にも答える。

技術経営（MOT）の重要性、1 年間で修了できる本大学院の特徴、入試方式や受験資格、科目選択方法と勤務と履修の両立法、特定課題研究のテーマ選びと指導方法、修士号取得による効果等を良く理解してもらい、出願の際の参考にしてもらうのが目的であり、来年度の 5 期生への多数の応募につながるが大いに期待されている。

（大学院技術経営研究科 専任教授 松野建二）

専門職大学院オープンキャンパス

2008

11/8(土)

2009

1/17(土)

2/14(土)

※各日とも 13:00 開始

■シンポジウム
 ■説明会
 ■キャンパスツアー
 ■授業見学 等を予定

参加ご希望の方は
 事前にお申し込みください
 お申し込み先

日本工業大学 専門職大学院
 TEL. 03-3511-7591
 FAX. 03-3511-7594
 Mail: mot@kanda.nit.ac.jp

2009 年度専門職大学院 試験日		
第1回募集	第2回募集	第3回募集
2008/11/30(日)	2009/2/1(日)	2009/3/1(日)

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集
(日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程
*機械工学専攻 *電気工学専攻 *建築学専攻
*システム工学専攻 *情報工学専攻

■平成21年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	受付時間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成20年9月25日～10月3日	10月10日	10月17日	平成21年1月26日
二次募集	平成21年2月14日～20日	2月27日	3月5日	平成21年3月13日

— お問い合わせ先：教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL <http://www.nit.ac.jp>

平成21年度学部入試日程

入試種別		日 程				
専門高校入試 (B 工業科)		第 1 期			第 2 期	
	出願期間	11/ 1(土)～11/ 6(木)			11/26(水)～12/ 8(月)	
	面接日と面接会場	11/12(水) 盛岡・東京・岡山 11/13(木) 郡山・長野 11/14(金) 新潟・静岡 11/15(土) 本学			12/13(土) 本学	
	合格発表	11/22(土)			12/20(土)	
一般推薦入試 (公募制)		第 1 期			第 2 期	
	出願期間	11/ 1(土)～11/ 6(木)			11/26(水)～12/ 8(月)	
	面接日と面接会場	11/12(水) 盛岡・東京・岡山 11/13(木) 郡山・長野 11/14(金) 新潟・静岡 11/15(土) 本学			12/13(土) 本学	
	合格発表	11/22(土)			12/20(土)	
特別奨学生入試	申込期間	8/18(月)～ 8/22(金)				
	面接日と面接会場	8/29(金) 本学				
	内定日	9/ 2(火)				
	出願期間	9/ 2(火)～ 9/10(水)				
	合格発表	9/20(土)				
カレッジマイスター 入試	申込期間	8/18(月)～ 8/22(金)				
	面接日と面接会場	8/29(金) 本学				
	内定日	9/ 2(火)				
	出願期間	9/ 2(火)～ 9/10(水)				
	合格発表	9/20(土)				
A O入試		第1期	第2期	第3期	第4期	第5期
	エントリー入試のエントリー期間	7/ 1(火) ～ 8/ 6(水)	8/18(月) ～ 9/16(火)	10/ 1(水) ～11/20(木)	11/25(火) ～12/10(水)	1/15(木) ～ 3/ 5(木)
	コーディネータ入試の申込期間	平成21年3月上旬まで、随時受付				
	面談・面接等	書類受理後に連絡				
	出願期間	9/ 2(火) ～ 9/10(水)	10/ 1(水) ～10/ 8(水)	12/ 5(金) ～12/11(木)	1/ 5(月) ～ 1/10(土)	3/ 2(月) ～ 3/12(木)
	選考	書類審査等				
	合格発表	9/20(土)	10/18(土)	12/20(土)	1/19(月)	3/21(土)
一般入試		一般入試A			一般入試B	
	出願期間	1/ 5(月)～ 1/24(土)			2/ 4(水)～ 2/16(月)	
	試験日	2/ 1(日) 本学、郡山、水戸、 高崎、千葉 2/ 2(月) 本学、東京、新潟、 長野、静岡 2/ 3(火) 本学			2/21(土) 本学	
	合格発表	2/10(火)			2/26(木)	
センター利用入試		センター利用入試A		センター利用入試B		センター利用入試C
	出願期間	1/ 5(月)～ 2/ 2(月)		2/ 4(水)～ 2/16(月)		2/18(水)～ 3/12(木)
	センター試験実施日	1/17(土)・18(日) ※本学での個別学力検査等は実施いたしません				
	合格発表	2/10(火)		2/26(木)		3/21(土)

・専門高校入試(A工業科)および一般推薦入試(指定校)については、2009受験ガイドをご参照ください。
・お問い合わせ先: 教務部入試室 ☎ 0120-250-267

機械工学科 長坂教授が 日本設計工学会で「論文賞」



左から長坂教授、宮本君、埼玉大・大滝教授

機械工学科の長坂保美教授および機械工学専攻博士後期課程1年の宮本祐也君が、(社)日本設計工学会平成20年度春季研究発表講演会・通常総会で、論文賞を受賞した。同学会は、昭和41年に日本設計製図研究会として発足し、(社)日本設計製図学会を経て、平成元年から現在の名称となった。約1700名の会員が所属している。

同学会の論文賞は、毎月発行される同学会誌1巻分(1月・12月)に掲載された論文の中から、設計分野に関する独創性あるいは実用性等の総合的な評価結果として、最も優秀な論文に与えられる賞である。

受賞した論文テーマは、「機械設計教材支援システムの開発(第1報、学習履歴による能力の把握について)」と「機械設計教材支援システムの開発(第2報、学習履歴による能力に適した指導について)」の2報であり、教育関連での論文賞受賞は珍しい。

本受賞の理由は、従来のCAI(コンピュータを用

近事片々

私は、現在、「超音波スピンドル」という新しい工作機械の開発について、会社から専属で任されています。超音波スピンドルとは、工作機械の回転主軸ですが、従来は回転のみであったのに加えて、それに超音波振動を付加できるようにしたものです。超音波振動の効果は微小な切削工具の変形を防止することができ、金属をはじめガラスや硬いセラミックス製などの機械部品の微細かつ精密切削を可能とします。

卒業から5年が経った現在でも、研究室には大変お世話になっております。何故か、研究室へ通っていると卒業した感じはしません。年々、代わる研究生とともに、在学当時と同様、一生懸命



今年 は 本学 LC センター で 開催 され た

6/28(土) 第4回「本学卒業現職教員の集い」盛大に開催

6月28日(土)午後2時より、本学LCセンターにて第4回本学卒業現職教員の集いを開催した。

現在、約1200名の本学卒業生が、全国の小・中学校・高等学校などで教職に就いているが、この会の趣旨は、全国の同窓の教員が一同に会し、各地区・学校の課題について意見交換を図り、交流を深めるものである。

現職教員の参加者は、60名、大学教職員80名が顔を揃えた。また、教職希望の学生30名が参加した。

プログラムは左記の通り

第一部 研究発表・研究協議会

①「中学校技術科の現状と課題」唐澤文夫氏

②「教材開発から見える工業教育の現状」高石千尋氏

第一部 講演会

①「日本工業大学教育の新展開」学長柳澤 章

②「平成21年度の入試」

入試室長 川村清志

③「教員免許更新講習について」工学教員研究所 長 原田 昭

第三部 学科交流会

機械システム系、電気電子・情報系、建築系の3学群に分かれて、各科での交流を深めた。

第四部 懇親会

現職教員の研究発表は、日々の教育実践を踏まえた力強い内容であった。

学長は、本学教育の将来がどのように展開されるかについて、分かり易く講演し、OB現職教員の理解が深まった。懇親会では、卒業生と大学教職員との輪があちこちにでき、在学時代の思い出や各地域・学校の教育事情などについて情報交換が行われていた。

(教職教育センター)

「なぜ？」を追求したい気持ちになる出前授業

最先端の科学や技術には、た後、「なぜ？」を追求したい気持ちが旺盛になっていることであろう。また、先生方にとっても、教え方のヒント満載の内容となっている」と述べている。これは科学技術への向学心を高め、それを大きく育てて欲しいとの願いである。

柳澤学長は「授業を受け手企業は今年度の業績が減益になると見込んでいる。また、特に建築業界は審査基準が厳しくなり、住宅着工件数が減少している。そのような状況の中で、採用の見送りや採用枠の縮小を余儀なくされている企業が、増加しつつあり、今までの売り手市場の潮目が変わってきたようにだ。

6月の就職状況について

は、6月30日現在で、既に600名以上の学生が内定(就職希望者に対する内定率は約60%で前年比1%アップ)し、上場会社を中心に大手企業(後記参照)に複数内定しているのが大きな特徴である。しかし、7月以降は、企業の業績悪化等の影響を受け、就職状況は今後、厳しくなることが予想される。

そのような状況ではあるが、本学には現在も本学の学生を採用したいという企業が、一日に10社前後、わざわざ来学して、内定を得ている。また、求人情報を利用して、就職活動をして欲しい。

就職活動は学生諸君が大きく成長するための

貴重な経験だと考える。最後まで諦めず頑張ってください。

【建設業】北野建設1名、フジタ1名、積水ハウス1名、大和ハウス工業1名他

【設備工事業】日本空調サービス6名、東電通5名、きんでん4名、三機工業3名、保安工業3名、関電工2名、大気社1名他

【鉄鋼業】JFEスチール2名他

【電気・機械器具】キヤノン化成4名、能美防災4名、キヤノン3名、ユニデン3名、SMC2名、TDK1名、三洋電機1名他

【輸送用機械器具】本田技研工業3名、ケーヒン2名、トキメック2名、関東自動車工業1名、自動車部品工業1名、日本精機1名他

【卸売業】キヤノンシステムアンドサポート9名他

【運輸電力業】JR東海3名、JR東日本2名、東京地下鉄2名、JPOWER1名他

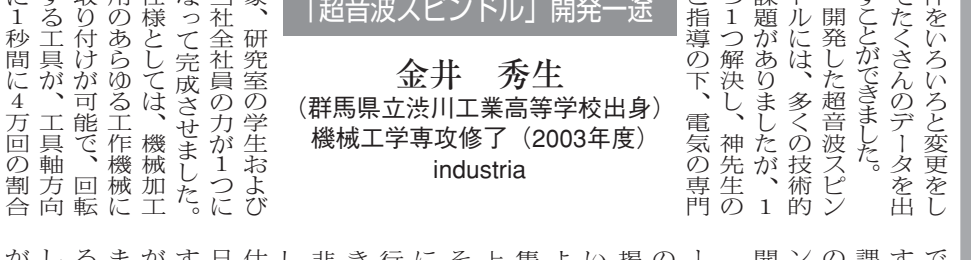
【情報産業】クロスキャット5名、シーイーシー2名、富士通エフサス2名、東芝システムテクノロジ2名、コナミ1名他

【その他サービス業】NECフィールディング5名、セントラル警備保障3名、NTTアドバンステクノロジ2名他

【非営利団体】関東電気保安協会6名他

(就職支援課長 吉見健二)

実施日	実施校	題目	実施日	実施校	題目
13 7/29(火)	茨城県立勝田工業高等学校	音のデジタル処理	13 7/29(火)	茨城県立勝田工業高等学校	音のデジタル処理
14 8/4(月)	茨城県立水戸工業高等学校	ロボット技術の使い方	14 8/4(月)	茨城県立水戸工業高等学校	ロボット技術の使い方
15 8/4(月)	茨城県立水戸工業高等学校	電気のお値段	15 8/4(月)	茨城県立水戸工業高等学校	電気のお値段
16 8/5(火)	茨城県立水戸工業高等学校	ナノテクノロジー小さな・ちいさな・CHISANA機械	16 8/5(火)	茨城県立水戸工業高等学校	ナノテクノロジー小さな・ちいさな・CHISANA機械
17 8/5(火)	茨城県立水戸工業高等学校	2007年新潟県中越沖地震被害状況	17 8/5(火)	茨城県立水戸工業高等学校	2007年新潟県中越沖地震被害状況
18 8/6(水)	茨城県立玉造工業高等学校	おもしろ科学実験	18 8/6(水)	茨城県立玉造工業高等学校	おもしろ科学実験
19 9/3(水)	栃木県立宇都宮白楊高等学校	挑戦！次世代ロボット	19 9/3(水)	栃木県立宇都宮白楊高等学校	挑戦！次世代ロボット
20 9/4(木)	群馬県立伊勢崎工業高等学校	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎	20 9/4(木)	群馬県立伊勢崎工業高等学校	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
21 9/10(水)	埼玉県立浦和工業高等学校	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎	21 9/10(水)	埼玉県立浦和工業高等学校	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
22 10/3(金)	埼玉県立久喜工業高等学校	挑戦！次世代ロボット	22 10/3(金)	埼玉県立久喜工業高等学校	挑戦！次世代ロボット
23 11/5(水)	栃木県立栃木工業高等学校	挑戦！次世代ロボット	23 11/5(水)	栃木県立栃木工業高等学校	挑戦！次世代ロボット
24 11/18(火)	群馬県立伊勢崎工業高等学校	おもしろ科学実験	24 11/18(火)	群馬県立伊勢崎工業高等学校	おもしろ科学実験



「超音波スピンドル」開発一途の金井秀生氏

金井 秀生 (群馬県立渋川工業高等学校出身) 機械工学専攻修了(2003年度) industria

具がたわみまします。しかし、超音波振動を付与した場合は、その工具のたわみを抑制する効果があることを明らかにすることができました。この発見をきっかけとして研究は一気に進み、その後は条

今年の就職戦線 売り手市場の潮目が変わる



本学で開催された企業合同説明会の様子

数ヶ月前まではバブル崩壊後の採用抑制による人手不足感の高まりと団塊世代の大量退職が重なり、技術系を中心に売り手市場になっていた。特に大手企業は人材確保のために採用活動を早くから開始し、内定を早くから出す企業が多かった。しかし、最近では、原油などエネルギー・原材料の高騰が響き、企業の景況感は悪化しつつあり、大

そのような状況ではあるが、本学には現在も本学の学生を採用したいという企業が、一日に10社前後、わざわざ来学して、内定を得ている。また、求人情報を利用して、就職活動をして欲しい。

就職活動は学生諸君が大きく成長するための

■出前授業実施・予定校

実施日	実施校	題目
1 4/25(金)	昭和第一学園高等学校	世界遺産と国際協力
2 5/24(土)	群馬県立藤岡工業高等学校	リニアモーターカーのしくみ
3 5/24(土)	群馬県立藤岡工業高等学校	コンピュータグラフィックスのしくみ
4 6/21(土)	宮代町立前原中学校	風車でつくるクリーンエネルギー
5 6/21(土)	埼玉会館	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
6 6/27(金)	財団法人ベターホーム協会	「もったいない」精神で毎日の生活を見直す
7 6/30(月)	千葉県立清水高等学校	大学への進路ガイダンス
8 7/14(月)	東京都立荒川工業高等学校	かけ引きの科学
9 7/18(金)	東京都立杉並工業高等学校	平行二輪車「セグウェイ」で体感するロボット制御の基礎
10 7/22(火)	長野県上田千曲高等学校	建築設計の魅力
11 7/24(木)	山形県立寒河江工業高等学校	次世代電気自動車は環境問題を解決する
12 7/29(火)	茨城県立勝田工業高等学校	コンピュータグラフィックスのしくみ

卒業後30年、20年、10年の皆様

11/1 第9回 ホームカミングデーへのお誘い



工業技術博物館を見学するOB（昨年の様子）

ホームカミングデーが、若杉祭初日の11月1日（土）に開催される。卒業後10年毎の節目の皆さんにお集まりいただくこの企画も今年で9回目。当日は、現在の大学を体験いただける博物館・各センター中心の学内見学ツアー、学食試食や懇親パーティを予定。大好評の抽選会では盛り沢山の景品を用意。ご家族連れでの参加も歓迎している。是非とも声を掛け合って、旧友や現旧教職員と楽しいひと時を過ごしていただきたい。（ホームカミングデー実行委員会）



パーティの前に参加者全員で記念撮影（昨年の様子）

第12回 スターリングテクノラリー

11/15(土) 今年も本学で開催



ノーマルクラスに参加した本学付属高校生（昨年の様子）

本競技は低公害で熱効率の高い自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを、人間乗車クラス、宙返り耐久ミニクラス、クーラクラスなど5クラスに分かれて競うもので、平成18年度日本機械学会教育賞を受賞している。昨年は、小学生から社会人まで全国から128チームが参加。各クラスにおいて熱戦が繰り広げられたが、特に人間乗車クラスでは記録を大幅に更新するなど、年々技術力の向上がめざましい。

自転車登録にご協力を！

先の日工大通信でもお知らせしたとおり、本年5月より構内へ乗り入れる全ての自転車が登録制となり、7月時点で、およそ980台の登録が成された。しかし、学内には常時2000台近くの自転車が乗り入れられている現状からまだ、相当数が未登録であると推察される。今後、未登録の自転車（登録シールが貼付されていないもの）は順次撤去を実施するので早急に登録をお願いしたい。



未登録自転車には注意札を

6月22日（日）に、本学機械工作センターおよび学友会館において日本工業大学学友会評議員会、総会が開催された。当日は、あいにくの雨にもかかわらず評議員会へは41名、総会へは68名の出席があり、熱のこもった議論が交わされた。

工友会だより 6/22(日) 工友会総会開催

工友会会員も、今年3月の卒業生で3万人を超える規模となり、これまでの会則を大幅に見直す必要があった。昨年の工友会総会で選出された役員で役員会を構成し、一年をかけて会則の改正、理事候補の選出について、さまざまな検討を



配膳を手伝う中学生

7月3日・4日の2日間、宮代町立須賀中学校、杉戸町立杉戸中学校にわたり、宮代町立須賀中学校2年生の女子生徒2名が、「職場体験学習」の一環として、昨年、一昨年に続き本学のスチューデントセンター食堂で社会体験学習を行った。これは、須賀中学校が「生徒1人ひとりが働くことの尊さを知ると共に、自らの進路についても

更に深く学びとることができるよう」との目的をもつて、積極的に取組んでいるものであり、派遣事業所の一つとして本学の食堂が指定されての実施であった。NITクリエイト職員と生徒たちは、わずか2日間ではあったが、普段の学校での学習では得られない、貴重な体験をした事であろう。



学友会館で開催された総会

去る5月25日（午後1時）より、本学学友会館にて平成20年度後援会定期総会が開催された。第1号議案「平成19年度事業報告」、第2号議案「平成19年度決算報告・同監査報告」、第3号議案「平成20年度事業計画」、第4号議案「平成20年度予算」、第5号議案「学園創立110周年記念事業協賛基金の積立について」、第6号議案「理事・監事の銓衡」は、慎重審議の上、全て承認され、総会は無事終了した。平成20年度の後援会理事は108名、監事2名。執行部は次の通り。

会長 小笠原康雄（新潟）
副会長 伊藤 茂（大阪）
磯貝栄一（福島）
門口 満（千葉）
鎌田 勝（岩手）
松澤美佐子（東京）
財務 金澤一美（栃木）
鳥取雄治（岡山）
中島構治（佐賀）
小林 卓（神奈川）

なお、後援会主催「地域別教育懇談会」の日程は下表の通りである。

宮代町立須賀中学校、杉戸町立杉戸中学校
本学スチューデントセンター食堂で体験学習
「2daysチャレンジ」

学生の中にNITクリエイトのスタッフと明るく談笑する女子中学生2人の姿が見られた。

後援会だより 5/25(日) 平成20年度定期総会開催

平成20年度地域別教育懇談会開催日程（予定）

開催日	主 催	開催都市	開催会場	対象地域
8月30日(土)	蔵王支部	山形市	パレスグランデール	山形県・宮城県
8月31日(日)	群馬県支部	高崎市	高崎ビューホテル	群馬県
〃	茨城県支部	土浦市	霞ヶ浦観光ホテル	茨城県
9月 6日(土)	沖縄県支部	那覇市	琉球サンロイヤルホテル	沖縄県
〃	本部(九州)	福岡市	サンライフホテル1	九州
9月 7日(日)	本部(北海道)	札幌市	ホテルクレスト札幌	北海道
〃	本部(四国)	高知市	ホテルサンルート高知	四国
9月13日(土)	栃木県支部	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県
〃	長野県支部	松本市	ホテルブエナビスタ	長野県
〃	青森県支部	青森市	青森国際ホテル	青森県
〃	北陸支部	金沢市	金沢勤労者プラザ	富山県・石川県・福井県
9月14日(日)	西中国支部	下関市	海峡ビューしものせき	広島県・山口県・島根県・九州
〃	山梨県支部	笛吹市	ホテル春日居	山梨県
〃	新潟県支部	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県
〃	東中国支部	津山市	津山国際ホテル	岡山県・鳥取県
9月20日(土)	秋田県支部	秋田市	協働大町ビル	秋田県
〃	福島県支部	郡山市	清稜山俱樂部	福島県
〃	静岡県支部	静岡市	清水テルサ	静岡県
9月21日(日)	岩手県支部	花巻市	千秋閣	岩手県
〃	千葉県支部	千葉市	千葉市文化交流プラザ	千葉県
〃	東海支部	名古屋市	中京大学文化市民会館	愛知県・岐阜県・三重県
9月28日(日)	近畿支部	尼崎市	ホップインアミング	大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・和歌山県・滋賀県
〃	本部(近県)		大学	東京都・埼玉県・神奈川県

※開催日および会場は、都合により変更となる場合があります。詳しいご案内は各支部（支部のない地域は本部）より各会員宅に郵送されるので、ご確認ください。
※対象地域以外にも参加可能ですので、後援会事務局にお問い合わせください。

シニアチャレンジ講座秋学期受講生募集

本講座は埼玉県との協定による県内8大学共同実施の開放講座である。受講生は学部生と共に学部の授業を受講する。対象は、県内在住55歳以上の方。春学期は4講座を開設、好評を得た。要項は本学ウェブページからダウンロード、または事務局にご請求いただきたい。

日程 9月〜21年1月
講座名(担当者)
福祉と情報(片山教授)、
風土とすまい(伊藤教授)、
環境と工学(佐藤教授)、
平成生まれの高齢化社会(渡辺教授)
修了証 各講座終了時に発行
定 員 各講座約10名
受講料 一講座二万円(複数受講可)
締切り 8月29日(金)
問合せ 生涯学習センター
0480・34・4111

人事異動

【任用】(6月1日付)
◆篠原総枝事務職員(教務部入試室)
【退職】(5月31日付)
◆岡田修身教授(英語教育センター)
【任命】(6月1日付)
◆英語教育センター長兼務 柳澤 章学長

国外出張

◆松田洋助教(情報工学科)／出張先スペイン(6/29〜7/7)／目的「先端教育技術に関する国際会議において論文発表」◆江藤香助手(情報工学科)／出張先スペイン(6/29〜7/7)／目的「先端教育技術に関する国際会議において論文発表」◆古閑伸裕教授(機械工学)

編集後記

▼中国四川省の地震に驚いていたら国内でも宮城県と岩手県で大きな地震が起こった。幸いなことに、本学学生への被害はなかった。「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を残した人物は、夏目漱石、正岡子規とも交流があった東京帝国大学(現東京大学)の実験物理学教授の寺田寅彦である。今から百年くらい前に「天災」という自然の恐ろしさと私たちすべてを取り巻く文明の頼りなさについて鋭く警告を発している。

▼学校教育法第百九条による認証評価を(財)日本高等教育評価機構において受審するため「自己点検・評価報告書」を六月末に提出した。今後、九月末からの二日間の実地調査を経て評価の「結果」がでる。報告書及び結果については公開していく。(F)

◆環境配慮の観点から再生紙を使用しております。